

令和7年11月17日

四国中央市長 大西 賢治 様

四国中央市議会議長 山川 和孝



「観光振興の取組について～観光振興計画の策定～」に対する提言

四国中央市議会基本条例に基づき、産業建設委員会において、観光振興の取組について理事者とともに勉強会を重ねた結果、以下のとおり提言いたします。

提言に当たって

本市の観光分野には、多くの観光客を魅了する施設が十分に整備されていない現状があり、市全体の魅力も効果的に発信されていないという課題が浮き彫りとなっています。これにより地域の価値や潜在的な観光資源が十分に認識されておらず、観光を通じた経済的効果や住民の生活へのポジティブな影響が期待以上に得られていない状況です。

この課題解決に向け、他市の成功事例や有効施策を参考に検討を進めた結果、観光振興策を体系的に整理し、長期的な視点に立ちながら効率的に事業を推進できる計画を早急に策定すべきであると考えます。この計画は、市民の誇りと地域の活力を醸成しながら、持続可能な観光の実現を目指した包括的なものとする必要があります。そのため、以下の留意点を十分踏まえた上で、取り組まれることを提言いたします。

記

1. 観光振興計画を策定すること

本市が持つ観光資源を改めて整理し、持続可能な観光が実現できるような計画を早急に策定してください。

2. 策定にあたっての留意点

(1) 重要課題を明確にすること

計画の基礎となる解決すべき課題や、行政として重点的に取り組むべきテーマを明確化してください。本市が持つ観光資源や地域特性を分析し、全国的な観光市場の動向を見据えた上で、具体的な目標を設定する必要があります。また、関係者が共有できる具体的な方向性を提示するなどして、計画の効果を最大化できるよう努めてください。

(2) 具体的指標を設定すること

計画の進捗や成果を客観的に評価するため、重要目標達成指標（KGI）や重要業績評価指標（KPI）を可能な限り数値で具体化してください。定期的に進捗状況を検証できる仕組みを導入することで、計画の実効性を高めてください。

(3) 実効性と本市の特性を重視すること

計画策定及び事業実施において外部委託に過度に依存するのではなく、本市独自の観点や特性を活かした「身の丈に合った計画」を策定することが肝要です。市職員や地域住民が主体となり、本市ならではの地域資源と新たな磨きをかけるための知恵を出し合うことで、計画の実効性をより高めることにもつながると考えます。そのため、地域団体など幅広い関係者と連携し、地域全体で協力して取り組む体制を構築してください。

(4) 観光振興を強化する組織体制を構築すること

本市全体の観光振興を強化するためには、持続可能な観光の促進や地域人材の育成に積極的に取り組む観光戦略が必要です。そのため、旧自治体の観光協会の枠にとらわれない、公益性と独立性を兼ね備えた組織運営を要望します。行政、事業者、地域団体との連携強化を進めるとともに、民間の経営センスを取り入れた専門的かつ効率的な運営を参考にしながら、市全体の観光振興の中核を担う組織の再構築に向けて準備を進めてください。

以上